

院長	副院長	副院長	副院長	事務部長	看護部長	主査

第74回 地域協議会（地域医療支援委員会）概要

【日時】令和8年3月16日（月）19:00開始

【場所】人吉医療センター3階講堂、オンライン

【出席者】山村 礼二 （人吉球磨歯科医師会）
河内 謙介 （西諸医師会理事）
木村 聡子 （熊本県人吉保健所）
池下 哲也 （人吉市健康福祉部長）
井手平 慎一 （えびの市健康保険課課長）
淵田 尚史 （人吉市教育委員会）
尾崎 宜 （人吉下球磨消防組合警防課長）
椎葉 一浩 （上球磨消防組合警防課長）
田上 博 （西諸広域行政事務組合警防指令課長）
薬師寺 俊剛 （人吉医療センター院長）
牟田 大助 （人吉医療センター副院長）
石神 哲郎 （人吉医療センター歯科口腔外科センター長）
告吉 ゆかり （人吉医療センター看護部部长）
山脇 淳 （人吉医療センター事務部長）
久保田 智子 （人吉医療センター診療情報管理室）
山田 一裕 （人吉医療センター医療福祉連携室）
田頭 隼人 （人吉医療センター医療福祉連携室）

【欠席者】友永 和宏 （人吉市医師会会長）
高森 啓史 （公的病院企業長）
近藤 浩之 （球磨郡医師会理事）
寺田 歩 （伊佐市医師会理事）
村田 圭介 （人吉球磨薬剤師会会長）
寺岡 公美 （伊佐市保健課長）
沖田 博文 （伊佐湧水消防組合警防課長）
花田 浩二 （人吉医療センター総務企画課）

（敬称略 計25名）

【資料概要】

一、開会

二、議長挨拶

三、議題

①登録医承認

【新規登録】

球磨郡	イーハトーブ在宅診療所	渡邊 龍太郎 先生
		合計 1 名

【登録削除】

人吉市	愛生記念病院	内山 尚 先生
		合計 1 名

【登録医総数】 231 名 (R8 年 3 月 16 日現在)

②当院の入院患者における紹介の状況と救急患者数について

→別紙参照

- ・入院の約半数が「紹介あり」
紹介のうち約半数が緊急入院
- ・主な診療科としては、外科、整形外科、総合診療科など
- ・疾患別では消化器系が最多。次いで循環器、外傷、呼吸器で、
地域を問わず似た傾向にある。
- ・転院・退院状況として、自宅退院：約 72%、転院：約 20%、死亡：約 5%
急性期治療後に地域へ戻す流れができています
- ・救急患者数 コロナ後で回復傾向
ウォークイン：約 53% 救急車：約 47%
年齢：高齢者（70 歳以上）が約 6 割
疾患：外傷、消化器、呼吸器、循環器の順
搬送後：約半分が入院、約半分が帰宅 重症と軽症が混在
地域別：人吉・球磨が約 7 割 宮崎・鹿児島からも流入

四、意見交換

①地域医療連携の円滑化に向けた取り組みについて

→別紙参照

【紹介状（選定療養費）について】

紹介状ない場合は、当院では初診時特定療養費 7700 円がかかる。
本来の目的としては、かかりつけ医を受診してもらい、必要時に病院紹介。
その際に紹介状を作成してもらう。
医療資源の適正利用。かかりつけ医との役割分担を目的。

患者が「紹介状が必要と言われ書いて欲しい」と開業医へいくケースがあり、
開業医とのトラブル発生へ繋がる。

対策：患者向け説明の強化

分かりやすい資料作成

医療機関のみならず行政も含めた周知

質疑応答

「シートについて高齢者には分かりにくい。もっと簡潔にすべき」

【転院・施設不足の問題、介護認定の問題について】

回復期病院・施設が満床

→入院期間の長期化、病床逼迫、救急受入れにも影響

高齢化、単身世帯増加、施設不足、介護認定の問題あり

介護認定の問題

認定に約 1 か月かかる。介護申請中の暫定サービス利用には制限あり。

結果として退院が遅れる、転院が増える現状。

質疑応答 「介護認定はなぜ遅れるのか？」

行政→・調査件数の増減による影響

・調査体制の問題あり

対応策 入院中に前倒し申請

病院で調査委託も可能

五、その他

六、閉会